

施策評価シート

対象事業年度 平成 30 年度

施策2

政策	I グローバルロジスティクスの港・ものづくりの港(国際産業戦略港湾)	施策推進責任者	建設部長・港営部長
施策	2 産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船会社、港湾運送事業者、荷主	意図(どういう状態にしたいのか)	充実した道路ネットワークや臨海部の企業進出用地整備により、既存産業の高度化や新展開、新たな基幹産業の創出を促進し、高い国際競争力をもった新たなものづくりの基盤を形成する港	
	サービスの対象物(何を)	道路ネットワーク(臨港道路・広域道路)や臨海部における企業進出用地(物流・産業用地)など			
展開①	臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上	展開②	物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充	展開③	企業立地の促進による創貨
	名古屋港内の渋滞緩和や背後地域とのアクセス強化を図るため、臨港道路の整備や交差点改良を行い、広域幹線道路網の整備を促進します。陸上輸送の大動脈や航空輸送と接続する名古屋港の強みを活かし、更なる物流の効率性や安全性の向上をめざします。		物流企業が進出できる用地を整備、分譲し、物流機能の集積を推進します。また、ものづくり産業の生産機能強化等の土地需要に対応するため、産業用地の拡充を促進します。		企業の立地状況やニーズ等を把握し、企業立地を推進する自治体へ名古屋港の利用促進につながるPRや情報提供を行うとともに、名古屋港管理組合から企業を対象とした情報提供を行い、企業立地の促進による創貨を図ります。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・5年間の状況・令和元年度以降の取組)

コード	事務事業名(担当課名)	指標名【指標型】	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の状況	令和元年度以降の取組
			1段目:指標 目標値	2段目:指標 実績値	3段目:事業費(単年度・人件費込・国費除く)				

【展開①】臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上

施02事101	鍋田ふ頭道路(進入)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	89.5%	100.0%				完了	
			89.5%	100.0%					
			861,793千円	1,272,787千円					
施02事102	飛島ふ頭道路(改良)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	55.0%	69.7%	83.7%	100.0%		完了	
			59.7%	61.5%	83.7%	100.0%			
			332,079千円	18,341千円	152,819千円	118,972千円			

【展開②】物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充

施02事201	西部地区(第1貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	99.4%	100.0%	100.0%			完了	
			99.2%	99.5%	100.0%				
			78,925千円	11,422千円	18,605千円				
施02事202	西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	87.1%	100.0%	100.0%			完了	
			85.7%	99.1%	100.0%				
			177,773千円	272,814千円	20,140千円				
施02事203	西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却(管理課)	分譲区画の売却(全8区画)【進行管理型】	-	-	3区画	4区画	5区画	やや遅れ	継続
			-	-	2区画	3区画	3区画		
			440千円	6,352千円	6,394千円	4,890千円	4,610千円		

【展開③】企業立地の促進による創貨

施02事301	名古屋港背後地域への企業誘致(誘致推進課)	企業立地などを目的としたセミナー等にて名古屋港のPR活動を行った回数【単年度管理型】	4回	4回	4回	4回	4回	目標値どおり	継続
			4回	4回	4回	5回	5回		
			8,029千円	8,119千円	8,138千円	8,448千円	8,470千円		
施策コスト(合計)			1,459,039千円	1,589,835千円	206,096千円	132,310千円	13,080千円		

3. CHECK(成果目標の状況・5年間の成果目標の総括)

施策 成果目標	実績等	年度	26年	27年	28年	29年	30年	5年間の成果目標の総括
			目標値	実績	目標値	実績	目標値	
企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)	目標値	ha	—	公募開始	5.1	6.8	14.0	・背後地域への企業誘致は実施しているものの、土地利用計画に適合する立地企業が十分には現れなかったため、目標とする企業立地面積には至らず、第1貯木場においては、6.8haの分譲予定に対し、4.9haの売却、第2貯木場においては7.2haの売却予定でしたが、売却はできませんでした。
	実績	ha	整備中	(5.1) ^{※1}	2.9	4.9	4.9	
臨港道路整備延長	目標値 ^{※2}	km	2.8	3.6	4.3	5.0		・臨港道路整備については、予定どおり工事が進捗し、平成29年度に目標値を達成し、完了しました。
	実績	km	3.0	3.5	4.3	5.0		

※1 27年度は仮契約のため、()にて表示しております。
 ※2 26~28年度は仮目標値としています。

$$\text{仮目標値} = \text{初期値(25年度)} + \frac{\text{目標値(29年度)} - \text{初期値(25年度)}}{4\text{年間(25~29年度)}} \times 25\text{年度からの経過年数}$$

4. ACTION(課題・令和元年度以降の取組)

	課題	令和元年度以降の取組
展開①	【事101】 鍋田ふ頭道路(進入)整備事業は、平成27年度に橋梁上部工及び舗装工を完了し、平成28年3月18日より4車線での全面供用を開始しました。【平成27年度完了】 【事102】 飛島ふ頭道路(改良)整備事業は、平成29年度に飛島①、②号線において約640mの改良(切削オーバーレイ)を行い完了しました。【平成29年度完了】	
展開②	【事201】 第1貯木場用地整備事業は、平成28年度に給水管の布設を行い完了しました。【平成28年度完了】 【事202】 第2貯木場用地整備事業は、平成28年度に仮設道路の整備を行い完了しました。【平成28年度完了】 【事203】 西部地区都市機能等用地の整備事業は、平成28年度に完了しましたが、埋立地の売却は目標を達成できず、企業立地の進捗が予定通りに進みませんでした。	【事203】 売却できなかった分譲地については、名古屋港の物流拠点として重要な土地であることから、分割可能性、敷地形状、道路及び周辺の排水計画を検討し、引き続き、企業動向の把握に努めながら土地の需要を見極めていきます。
展開③	【事301】 愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)の実施する外資系企業ネットワーク懇談会、愛知県産業立地推進協議会が実施する産業立地セミナー及び愛知・名古屋産業立地プロモーション事業実行委員会への事業協力に加え、岐阜県、長野県及び滋賀県内の企業誘致を推進する自治体を訪問するなど、名古屋港のPR活動を行いました。	【事301】 関係機関と連携し、今後とも名古屋港背後圏への企業進出意欲の向上を図るとともに、企業誘致を推進する自治体等に対する名古屋港のPRや企業進出ニーズの把握を行っていきます。特に、令和6年度に東海環状自動車道(西回りルート)の全面開通が予定されていることから、引き続き、多数の企業の進出が見込まれるIC周辺の自治体を訪問し名古屋港のPRを行うとともに、企業進出ニーズの把握など情報収集を行っていきます。

今後の新たな取組方針

名古屋港と背後圏を結ぶ道路ネットワークの整備促進に向け、愛知県をはじめ関係者と一体となって取り組んでいきます。